

第3回 実践方言研究会

日時:2018年10月13日(土)9:30~11:30
会場:岐阜大学 教育学部棟 7階

▼位置:日本語学会の会場案内図参照。午後の口頭発表の会場と同じ建物の最上階

https://www.jpling.gr.jp/taikai/2018b/2018b_access/#kaijo (会場案内図)

▼交通:日本語学会の交通案内参照。JR 岐阜駅北口・名鉄岐阜駅から岐阜大学まで、⑨番乗場 C70・C71・C72 または⑤番乗場 C70・E乗場 C72 の岐阜大学・病院線(忠節橋経由)で「岐阜大学」バス停下車。所要時間約30~40分、320円/⑨または④番乗場 N45 の岐南町線(長良橋経由)で「岐阜大学」バス停下車。所要時間約40分、320円

高齢者と方言の関係

—宮城県名取市「方言を語り残そう会」の取り組みから考える—

榎引 祐希子(大阪教育大学)

マスメディア・生涯教育を中心とした 地域への方言の発信

加藤 和夫(金沢大学)

2012年から続けてきた東日本大震災に関わる「文化庁委託事業研究報告会」を発展させ、新たに「実践方言研究会」を立ち上げました。方言によるコミュニケーション上の障害や効果、地域社会の活性化への寄与、そして、次世代への継承と教育といった方言学の実践的な課題を扱います。毎回、研究発表や活動報告を行うことで、この分野の情報・意見交換の場としたいと考えます。みなさま振るってご参加ください。発表も大歓迎です。

幹事:今村かほる、大野眞男、小林隆、半沢康、杉本妙子、新井小枝子

今回の問い合わせ先:茨城大学人文社会科学部人間文化学科 杉本妙子
電話:029-228-8480 電子メール:taeko.sugimoto.taco@vc.ibaraki.ac.jp